

はじめに

鳥取県では、県内の企業・事業所が子育て支援やワーク・ライフ・バランスの推進のためにどのような取組を進めているのかを把握するため、ダイバーシティ・コンサルタントである、渥美 由喜(あつみ なおき)氏発案の企業子宝率という指標を用いて調査しました。

調査の結果、企業子宝率の数値が高く、子育て支援に率先して取り組んでいる企業8社を表彰し、その取組を参考として紹介します。今後の企業経営に繋がる取組や職場風土づくりの一助となれば幸いです。



子育てしやすい職場環境づくりの取組事例

アンケートの回答の中から、企業が行っている子育てしやすい職場環境づくりの取組について、その一例を紹介します。

1 休暇・定時退社をしやすい職場環境や雰囲気づくりの主な取組

子どもの急病時などのための特別休暇制度の整備・利用促進

産前・産後休暇以外にも、子どもの急病、幼稚園の送迎などに対応できる特別休暇制度を規定し、取得を積極的に勧めている。

残業を少なくするため定時退社の声掛けを実施

退社時間を過ぎるとリーダーが社内の見回りを実施し、残っている従業員に声掛けを行い、退社を促している。

社員間でコミュニケーションを積極的に取るようにしている

日頃から社員間でのコミュニケーションを取っているため、家庭状況がわかり、フォローし合う体制ができています。

ポイント

気兼ねなく休みが取れる職場環境、定時退社できる体制と、従業員間のコミュニケーションが重要

2 育児休業を取得した従業員が職場復帰しやすくする主な取組

本人と話し合いながら復帰後の職務内容を決定

復帰前には、所属長が、本人の体調、復帰後の子育て環境等についてヒアリングを行い、その上で職務内容を決定する。

復帰希望者へ復帰プログラムを実施

育児休業期間中、復帰希望者に対して、職場復帰プログラムを実施し、円滑な復帰をサポートしている。

育児休業中に職場の様子等を連絡

復帰時のブランク、不安を感じさせないため、社内報を郵送し、電話やメール等で、職場の様子を伝えている。

ポイント

職場復帰のため、職場は、本人の体調、家庭環境、復帰後の子育て環境への配慮が必要

3 子育て中の社員に配慮した独自の主な取組

子ども同伴での出勤を許可

子育て中の従業員が家庭で保育ができない場合には、子ども同伴での出勤を認めている。

男性従業員に対し配偶者の出産に立ち会うための有給休暇取得を推奨

立ち会い出産を勧奨するため、配偶者の出産に際し、男性従業員に対し、年次有給休暇の取得を推奨している。

就学前まで育児短時間勤務制度を導入

就学前の子どもを持つ従業員を対象に育児短時間勤務制度を導入している。

ポイント

仕事と子育ての時間のバランスが良くなるよう会社が子育て支援として何が出来るかを考え、一つでも実施していくことが必要

目次

P2…子育てしやすい職場環境づくりの取組事例
平成28年度鳥取県企業子宝率調査に係る知事表彰企業の取組事例

P3…株式会社角屋食品 P3…北斗興業株式会社

P4…馬野建設株式会社 P4…有限会社 FUNAZAWA

P5…鳥取ダイハツ販売株式会社 P5…有限会社江府技研コンサルタント

P6…藤井政雄記念病院附属歯科クリニック

P6…医療法人社団 FOL とみます外科プライマリーケアクリニック

鳥取県「企業子宝率」調査概要

1. 調査内容

(1) 企業子宝率調査

男女問わず企業の従業員(15~59歳)が、当該企業在职中にもつことが見込まれる子どもの数を推計するための調査を実施

(2) 子育てしやすい職場環境づくりの取組状況調査

育児休暇・育児休業を取りやすい取組、職場復帰への取組、会社独自の子育て支援の取組などのアンケート調査を実施

2. 調査対象

県内に本社がある常用雇用者10人以上の事業所

3. 回答数

348事業所

4. 調査方法

郵送による回答

5. 調査期間

平成28年10月4日(火)~11月11日(金)

※企業子宝率調査方式に関する一切の知的財産権は、この調査方式の発案者である渥美由喜氏に帰属します。発案者の事前承諾なく、複製・転載・流用・転売・複写等はできません。

「企業子宝率」調査結果

企業子宝率全体の最高値・平均値

最高値 **3.21**

平成26年度 最高値 2.43

平均値 **1.37**

平成26年度 平均値 1.31

従業員規模別の最高値・平均値

